知中デザインスケッチブック

知立市立知立中学校による

オリジナル指導案

授業クラス（３年各クラス）　　　　授業者（各担任　）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ステップ１　教材研究を通して、「この授業だからこそ設定できるねらい」を考えよう | 教材名　　　教科書教材　「あの日　生まれた命」（光村図書） | | |
| ①　まずは教材を読み、「あらすじ」「考えるポイントとなるところ」「自分が読んでいて考えさせたいところ」などを書きだしていこう。 | | |
| メモ  ・2011年3月11日、東日本大震災直前に生まれた「真奈ちゃん（仮名）」と、その母を取材したＮＨＫ取材班による記録。  ・真奈ちゃんが生まれた直後、震災が起こり、真奈ちゃんの祖母が行方不明になった。その一週間後、祖母は遺体で見つかった。  ・真奈ちゃんの母は、子供が誕生したことを素直に喜べない複雑な思いを抱えた。  　→真奈ちゃんが1歳を迎えるころ、北海道の「君の椅子」プロジェクトから、真奈ちゃんに椅子が届いた。  　　→母「徐々にではありますが、娘が生まれたことを素直に喜んでいいのだなと思えるようになりました。」 | | |
| ②　その教材を使って、どんな内容項目で授業を行うか、まとめよう | | |
| 内容項目：Ｄ（１９）生命の尊さ  〇心情的な視点  ・自他の生命を尊ぶ心情  ・生きていることに対する感謝  ・生き続けようとする思い  ・誰もがかけがえのない尊い存在であるという心情  〇俯瞰的な視点  ・生命は親から子へ命をつないでいる  ・自分をふくむ命は連続している  ・自分の存在は奇跡的な確率で生まれたものである | | |
| ③　この教材だからこそできる内容項目に沿ったねらいを考えよう | | |
| 被災者支援プロジェクトに関する実話を通し、亡くなってしまった命の大きさを考えることで、命を大切にしようとする心情を育てる。  「君の椅子プロジェクト」を実行した人の思いを探ることで、誰もが誰かに大切に思われているのだということを捉えさせる。  「祖母」「お母さん」「真奈ちゃん」の３者の存在のつながりについて考えることで、誰もが命の連続性の中にあり、尊い存在であるという心情を育てる。 | | |
| ④　授業が終わった後、生徒の感想の内容や、日常生活で期待する姿を考えよう | | |
| ・両親との会話が増え、家族との時間を大切にしようと思える姿  ・自分の命を大切にしようと前向きな思いをもてる姿 | | |
| ステップ２　授業展開をデザインしよう |  | 発問・子どもの活動・子どもの反応 | 全員参加のための支援・道徳的価値を深めるための方法 |
|  | |  | | --- | | 小さな道徳の時間 |   ・家庭科で行った保育園訪問の写真をもとに、体験を振り返る。  　・子どもたちがとても可愛かった。  　・子どもたちが笑顔になるように頑張った。笑顔にできると嬉しかった。  　・自分たちも元気をもらえた。  ・教科書P26～P27の5行目までを読む。  お母さんの「複雑な思い」はどんなものだろう  ・回答をロイロノートで提出。 | ・体験を思い出しやすくするため、活動している生徒たちの写真を提示する。  また、家庭科で書いた振り返りを用意し、どのような記述があったか紹介できるようにする。 |
| 0  5  10  30  45 | |  | | --- | | 対話的な道徳の時間 |   ・小さな道徳の発問に対する回答を共有する。  　・祖母が犠牲になったことで、素直に喜べない、喜んでよいかわからないという思い。  　・自分の大切なお母さんが亡くなってしまって、悲しみが大きいという思い。  ・教材を最後まで読む。  例  希望  お母さん  君の椅子Ｐ  応援  勇気  愛情  命の流れ  命  真奈ちゃん  祖母  ・君の椅子プロジェクトの人から、お母さんや真奈ちゃんは希望や応援の気持ちをもらったと思う。  ・真奈ちゃんの存在がなければ、お母さんは震災を乗り越えられなかったのではないかな。  ・祖母がいなければ、お母さんはもちろん、真奈ちゃんの誕生もなかったから、「命」という言葉をいれました。  あなたの存在が周りにもたらすものは何だろう  ・私がいることで、友達にとって、日常の楽しい時間が生まれるのではないかな。  ・家族は、私の存在で頑張るための力を得ているのだろう。  ・振り返りを記入する。  ・私の存在が周りに力を与えていると思った。自分の尊さを感じた。  ・自分の命は親からもらったもので、奇跡的に生まれたのだから、命を大切にしたい。 | ・多くの生徒が共感できそうな意見を中心に取り上げるために、ロイロノートで提出させたものを事前に確認する。  ・大きな悲しみに包まれていたことを想像しやすくするため、東日本大震災の様子を画像等で提示する。  「君の椅子プロジェクト」「お母さん」「真奈ちゃん」「祖母」  それぞれの存在から受け取ったものは何だろう  ・思考を助けるために、７月に行われたいのちの教育の振り返りを配付しておき、いつでも確認できるようにしておく。  ・自由な思考を促すために、シンキングツールを利用する。また、活動の内容をわかりやすく示すために、あらかじめ例を示しておく。  ・考えを深めさせるために、グループごとに話し合わせる。また、記入する言葉は５文字以下という指定をする。  ・自分に対する親の思いを思い返すために、５月に行った家庭科のレポートの保護者へのインタビューの内容を紹介する。 |